

令和7年度の重点事項 何に力を入れていくのか

東京の目指す教育を実現するため、令和7年度、私たちは何に力を入れていくのか、共有しましょう

1
1

新しいステージに
おける教育の展開

「新たな教育の スタイル」の展開

GO!

1
2

新しいステージに
おける教育の展開

デジタルを 活用した学び

GO!

1
3

新しいステージに
おける教育の展開

グローバル人材 の育成

GO!

2

多様化する児童・生徒 への対応の ブラッシュアップ

GO!

3

学校現場のBPXによる 「働き方改革」の 抜本的な推進

GO!

コラム

事業を もっとよく します!

GO!



クリック

新しいステージにおける教育の展開



※ Learning Platform Transformation

Point ! ① LPX[※]により「新たな教育のスタイル」を都立高校から展開する



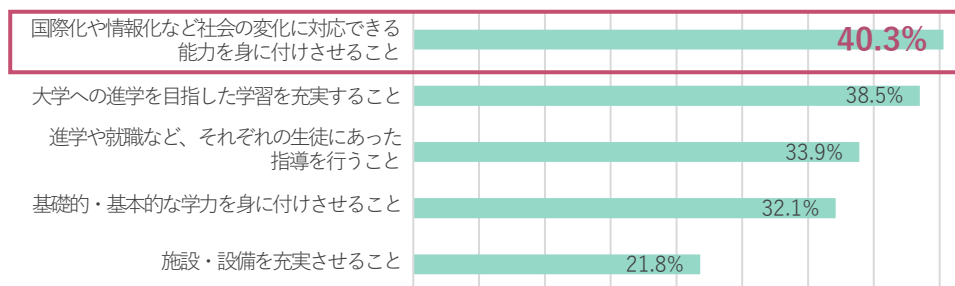
なぜ、これが重要なのですか？

都立高校の良い点で、今後さらに伸ばすべきと思うこと

(都内公立中学校3年生保護者)

「国際化や情報化など社会の変化に対応できる能力を身に付けさせること」を伸ばすべきとする意見が最多

→ 変化に対応できる柔軟な創造性、主体性等を育成することが必要



東京都教育委員会「都立高校の現状把握に関する調査」(令和4年4月)を基に作成

実現に向けて、こうした取組をします！

新たな分野に関するデジタル教材の開発

生徒及び保護者の学びに対するニーズの多様化に対応するため、学習指導要領に位置付けられた教科・科目等の内容を超えた学びを提供できるよう、新たな分野に関するデジタル教材を開発



学習管理システム(LMS)の導入

きめ細かな指導や生徒の主体的な学習を一層支援するため、学習状況を可視化し、講座情報の一覧化など生徒の学習履歴等を一元管理可能なLMS(Learning Management System)を導入

通信制課程の改善・充実

通信制課程において、専門学校と連携した講座や生徒の学びをサポートするシステムを導入するなどの取組を先行実施

学校外の専門機関との連携強化

学校外の専門機関(ミネルバ大学)との連携を強化し、世界的な課題に対する生徒自身の視点と海外大学生の視点の比較や、多様な価値観や考え方に触れることにより、課題解決に取り組む姿勢を育成

子供たちの声



一人一人が自分に合った教科を選択できるような制度がほしい。自分で選べたら、やる気が出る！

学校で、時代を先取りした技術や考え方を学べる時間を増やしてほしい。将来につながる勉強をしたい



社会に出て活躍するために、企業等の様々な人たちと交流したい。起業家体験もしてみたいよ



新しいステージにおける教育の展開



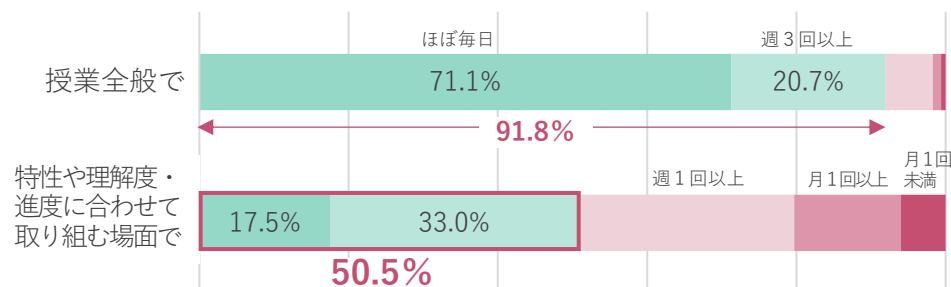
Point! ② デジタルの力を効果的に活用して、学びを充実させる



なぜ、これが重要なのですか？

授業における一人1台端末の活用状況

生徒が、自分の特性や理解度、進度に合わせて取り組む場面で、
一人1台端末を「週3回以上」活用する学校は約5割
→ 教育DXにより、教え方や学び方そのものの転換が必要



令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果から作成

子供たちの声



インターネットで友達と
交流し、学校に来ていな
い人も勉強できるように
してほしいよ

みんなで考えて、タブレットで
まとめて発表するのが楽しい。
こういう授業が増えるといいな



デジタルを使った方が、
効率よく学べるよ。
もっと深い学びができる
学校になってほしい



実現に向けて、こうした取組をします！

生成AIの活用の推進

授業等で先端的技術により学びを充実できるよう、「都立学校向け生成AI」の活用を推進するとともに、効果的な活用ノウハウを共有

AIリテラシー育成教材の作成

生成AIに関する正しい知識と有効な活用法を学習するため、小・中・高・特別支援学校生向けにAIリテラシー育成教材を作成

AI技術を用いた英語教材の活用

都立学校にてAI技術を用いた英語教材を活用し、英文を書く力や思考力を育成



デジタル教科書の活用促進

デジタル教科書を「教科書」として活用できるよう研究開発を行い、都立高校等にて実践



新しいステージにおける教育の展開

Point! ③ 言葉の壁を乗り越え、国内外の課題を解決する力を伸ばす

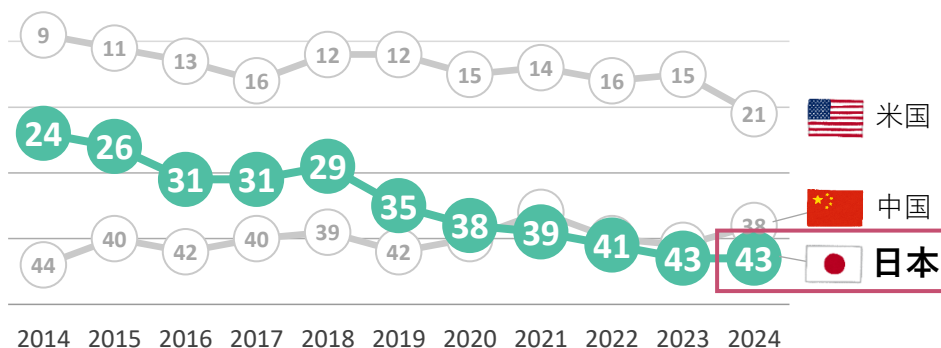


なぜ、これが重要なのか？

世界人材ランキング※

※IMD世界競争力センターが発表する、人材に関する国・地域ごとの投資、育成の状況を公的な統計等を基に比較したランキング

日本の人材競争力は低下傾向。この10年間で約20位低下
→ グローバルな環境で力を発揮できるようにすることが必要



IMD「World Talent Ranking」を基に作成

子供たちの声



いろんな国の言葉や文化を知りたい。将来、外国で仕事をする可能性もあるから、役に立つと思うよ

外国の方たちと関わる機会がもっとほしいよ。リモートも活用したら、たくさん交流できそう



外国語の勉強で、日常で使えるスピーキングやライティングの練習を増やしてほしい。留学してみたいな



実現に向けて、こうした取組をします！

都立学校の国際交流プログラムの充実

都立高校生等の海外派遣や海外高校生の受入れを拡大し、様々な交流プログラムを提供

英語でジョブチャレンジ

世界を視野に活躍する意識の向上等を目的に、都立高校生が日常的に英語を活用する職場で仕事体験をする機会を提供



コンシェルジュ等による生徒一人ひとりに応じた支援

海外大学進学に向けた基本情報の提供や、保護者向け説明会などの対象を都立高校全体に拡大するとともに、コンシェルジュ等により生徒一人ひとりに応じた支援を強化

グローバル教員の育成

教員のグローバル化を強力に促進するべく、都立学校教員を海外大学院等へ派遣する留学プログラムや、英語教育で指導的立場の教員を対象とした海外派遣研修を新設

Point!

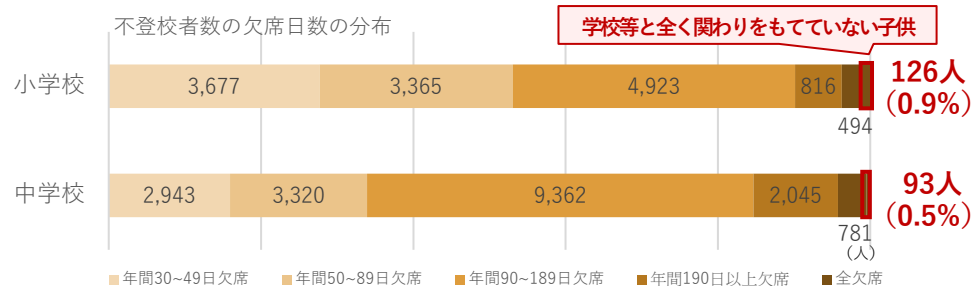
多様な学びの場と居場所を学校内外に整備する

ビジョン

なぜ、これが重要なのですか？

学校等と全く関わりをもてていない子供の状況

学校等と全く関わりをもてていない子供が200人余存在
→ 一人ひとりの子供の状況に応じたきめ細かな教育が必要



子供たちの声



学校にいけない子供を
少なくしてほしい。
みんなの学校だから

もっと気軽に、スクールカウ
ンセラーに相談できる場所を
増やしてほしいな



支援を必要としている人も、
していない人も関係なく、
みんな一緒に遊んだり、
学んだりする学校にしたい



実現に向けて、こうした取組をします！

スクールカウンセラーの配置拡大

児童・生徒の心理に関して高度な専門性を有するスク
ールカウンセラーに必要に応じ相談できるよう、最大週3日
程度の実質的常駐化へ配置拡大



特別支援学校等卒業後の学びの充実

特別支援学校等卒業後の学習機会の充実に向け、卒業後
の進路に関する調査を実施し、ニーズを満たす
プログラムを開発・実施



ダイバーシティ推進校の指定

新設する在京外国人枠設置校を、異文化・多様性への理解
を深める指導の充実を図る「ダイバーシティ推進校」に指定
し、日本語指導が必要な生徒支援の拠点校とし他校も支援

不登校等への支援の充実

中学校におけるチャレンジクラス（不登校対応校内分教室）の設置
を拡大。小学校1年生が安心して学べるよう、エデュケーショ
ン・アシスタントを1学級に1名配置するモデル事業を実施

BPXを通じた働き方改革の抜本的な推進



Point ! **B P X** (ビジネス・プロセス
トランスフォーメーション) により、**業務効率化を推進し授業の質を向上させる**



なぜ、これが重要なのですか？

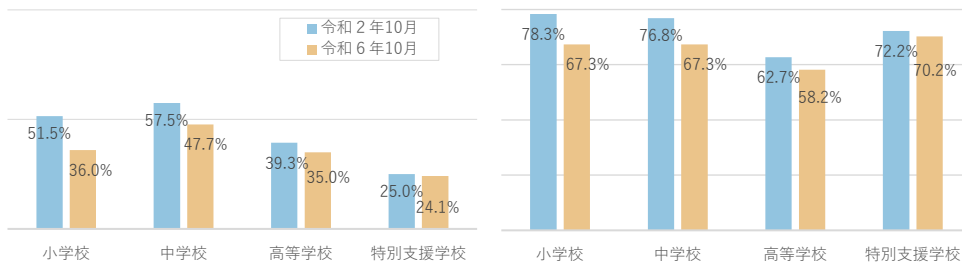
時間外勤務が月45時間(国・都の基準)を超える教員の割合

時間外勤務状況は改善傾向だが、依然、長時間勤務の教員が多い
→ **働き方改革を推進し、「手取り時間」を増やすことが必要**

※様々な創造的な取組につなげられるような、自らの裁量で使える時間

教諭等（主幹教諭、指導教諭、主任教諭を含む）

副 校 長



カードシステム等で把握した10月の在校等時間の比較 ※校外における時間外勤務を含む（一部の地区除く）

子供たちの声

先生と話す時間が少ないから、
少しでも多く話せるように
してほしいな



先生だけではなく、**アシスタントや補助の先生**を採用して、**気軽に質問**できるようにしてほしいよ

先生のサポートのための**アプリを導入**したり、**AIで採点を楽にする**のはどうかな



実現に向けて、こうした取組をします！

TEPROによる学校支援の強化

民間事業者と連携したサポート人材の確保・育成、学校と外部人材のマッチングに向けたA Iの活用、弁護士等による相談体制の拡充等、**TEPROの機能を強化**

業務のアウトソーシング

公立小・中学校にて、**学校・教員以外でも担うことが可能な業務**について段階的に外部委託を推進



在校等時間の見える化

都立学校の**在校等時間を閲覧できるシステムを構築**し、タイムマネジメントを意識した働き方を促進

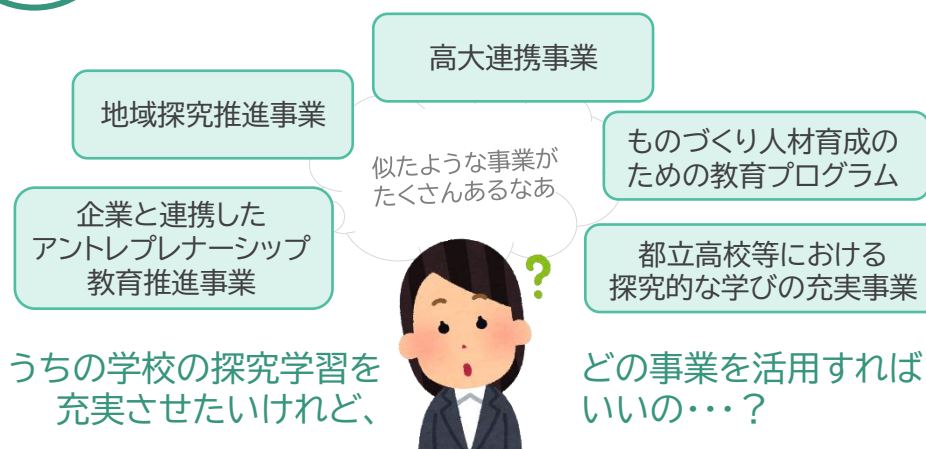


校務のデジタル化

メール・チャット等のアプリケーションを有効活用できるよう**スマホ等を貸与**し、教員が安全に生徒の個人情報を管理できるよう**教務手帳の電子化**について**検証**

東京都教育委員会が、**B P X**（ビジネス・プロセス
トランスフォーメーション）により、**業務の効率化をどう図るか**、紹介します

例1 探究学習をもっとしやすく



「Tokyo IBL Project Scope」に一本化します！



「チーム都立」TIPS Forumにて、
全校が一堂に会し、探究の成果を発表・普及・深化

探しやすい！ 好事例も確認できてGood！

例2 教員がもっと働きやすく

「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」を策定し、取組を推進



令和6年度、モデル校4校で、
コンサルタントを
活用し、学校教員が
担うべき業務の
精査等を実施

これまでの成果を
踏まえて...

外部委託やデジタル化等で、業務改革を進めます！

業務のアウトソーシング

学校・教員以外でも担うことが可能な業務について段階的に外部委託を推進

コンサルタントによる業務改革支援

外部コンサルタントを活用し、各学校の状況に応じ業務改革を支援

校務のデジタル化

教員が安全に生徒の個人情報情報を管理できるよう、教務手帳の電子化を検証

システムの共通化

統合型校務支援システム等の都全域での共通化に向け、区市町村の現状等を把握

生き生きと

仕事ができる！